

ライブラリーサイエンス専攻(修士課程) の履修モデル

■履修モデル1

【文系・理系の学生⇒記録管理の専門家(アーキビスト、レコードマネジャー)】

入学者

ライブラリーサイエンス専攻

修了者

【学府共通科目(1単位)】

- 統合新領域最先端セミナー(1)

【特別研究(6単位)】

- 特別研究 I (2)
- 特別研究 II (4)

【基礎科目(1単位)】

- ライブラリーサイエンス概論(1)

【PTL・インターンシップ(3単位)】

- PTL II (2)
資料や情報の総合的な管理・利用
- インターンシップ(1)

【修士論文】

【専門科目(21単位)】

- 情報マネジメント論(2)
- 情報システム論(2)
- 現代情報法制論(1)
- 情報資源保存論(2)
- 文書記録マネジメント論(2)
- 文書記録管理政策論(2)
- 文書記録活動論(2)
- 文書記録資料論
または文書記録特殊資料論(2)
- 情報評価分析論(2)
- データベース演習(2)
または構造化文書運用演習(2)
- 公文書評価選別論(2)

【自由選択科目(4単位以上)】

- ・ PTL・インターンシップ, 専門科目
- ・ 他専攻または他学府の科目

【養成される知識と能力】

- 情報価値を評価・選別し、利用価値の高い情報を収集し、機能的に整理・保存する能力
- 情報システムを活用し、ユーザの要求に応じて、情報を提供できる能力
- 資料(データ)生成のプロセス等を把握することにより、情報を求めるユーザーをガイドできる能力
- ユーザーの視点に立った情報の検索や発信のための技術、情報システムを管理するための知識と能力、社会状況の変化に応じて整備・改定される法律に関する知識とその運用能力

記録管理学に関する知識を深め、国や地方公共団体または民間会社で記録管理に携わる仕事がしたい

文系
理系

民間企業における
記録管理の
専門家

文書管理に関する専門家
(レコードマネジャー等)

履修指導

◆例示: 他学府の科目◆

- ・ 日本経済史特論
- ・ 上級産業社会史

■履修モデル2

【文系・理系の学生⇒特定領域の情報専門家(サブジェクトライブラリアン)】

入学者

ライブラリーサイエンス専攻

修了者

【学府共通科目(1単位)】

- 統合新領域最先端セミナー(1)

【特別研究(6単位)】

- 特別研究Ⅰ(2)
- 特別研究Ⅱ(4)

【基礎科目(1単位)】

- ライブラリーサイエンス概論(1)

【PTL・インターンシップ(3単位)】

- PTLⅡ(2)
資料や情報の総合的な管理・利用
- インターンシップ(1)

【修士論文】

【専門科目(21単位)】

- 情報マネジメント論(2)
- 情報システム論(2)
- 現代情報法制論(1)
- 学習科学(2)
- 電子資料開発論(2)
- レファレンスサービス論(2)
- ライブラリー資料論(2)
またはライブラリー特殊資料論(2)
- 情報評価分析論(2)
- 情報サービスと著作権(2)
- データベース演習(2)
- 公文書評価選別論(2)

【自由選択科目(4単位以上)】

- ・ PTL・インターンシップ, 専門科目
- ・ 他専攻または他学府の科目

【養成される知識と能力】

- 情報価値を評価・選別し、利用価値の高い情報を収集し、機能的に整理・保存する能力
- 情報システムを活用し、ユーザの要求に応じて、情報を提供できる能力
- 特定の主題領域の知識の概要を把握し、その領域の資料の背景知識を把握することにより、情報を求めるユーザーをガイドできる能力
- ユーザーの視点に立った情報の検索や発信のための技術、情報システムを管理するための知識と能力、社会状況の変化に応じて整備・改定される法律に関する知識とその運用能力

大学
図書館員

例えば、前近代の日本を主題とするサブジェクトライブラリアン

◆例示:他学府の科目◆

- ・ 日本近世史史料研究
 - ・ 日本近代史史料研究
 - ・ 日本経済史特論
- 等、主題分野を深める科目

学部で学んだ専門分野を活かして、高度情報化社会におけるユーザーの要求に的確に対応できる情報の管理・提供者になりたい

文系
理系

履修指導

■履修モデル3

【社会人(図書館員)⇒情報を管理・提供する組織の管理者を目指す社会人】

入学者

ライブラリーサイエンス専攻

修了者

【学府共通科目(1単位)】

- 統合新領域最先端セミナー(1)

【特別研究(6単位)】

- 特別研究Ⅰ(2)
- 特別研究Ⅱ(4)

【基礎科目(1単位)】

- ライブラリーサイエンス概論(1)

【PTL・インターンシップ(3単位)】

- PTLⅠ(2)
ICT化へ対応した情報の新たな提供・利用、
教育学習環境
- インターンシップ(1)

【修士論文】

【専門科目(21単位)】

- 情報マネジメント論(2)
- 情報システム論(2)
- 現代情報法制論(1)
- 学習科学(2)
- 図書館マネジメント論(2)
- 図書館行政論(1)
- 学術情報流通論(1)
- 情報サービスと著作権(2)
- ライブラリー資料論(2)
またはライブラリー特殊資料論(2)
- 情報評価分析論(2)
- データベース演習(2)
- 構造化文書運用演習(2)

【自由選択科目(4単位以上)】

- ・ PTL・インターンシップ, 専門科目
- ・ 他専攻または他学府の科目

【養成される知識と能力】

- 取り扱う文書や資料などの情報の特徴とそれに応じた適切な情報提供のあり方に関する知識
- ユーザーのニーズを把握する能力と、ユーザーのニーズに応えるための方策、技術、情報システムに関する知識
- 情報を管理・提供する組織の経営・管理に関する、経営資源、組織のあり方、業務とサービスの評価方法、政策、法制度、将来計画などに関する知識とその運用能力

情報を管理・提供する組織において、諸問題を的確に把握しユーザーの要求に適切に対応しうる運営・管理者となりたい

社会人
(図書館員)

社会人
(図書館員)

経営改革ができるような
管理者を目指す

■履修モデル4

【理系の学生⇒図書館など情報専門組織における情報通信技術の専門家】

入学者

ライブラリーサイエンス専攻

修了者

【学府共通科目(1単位)】

- 統合新領域最先端セミナー(1)

【特別研究(6単位)】

- 特別研究 I (2)
- 特別研究 II (4)

【基礎科目(1単位)】

- ライブラリーサイエンス概論(1)

【PTL・インターンシップ(3単位)】

- PTL I (2)
ICT化へ対応した情報の新たな提供・利用、
教育学習環境
- インターンシップ(1)

【修士論文】

【専門科目(22単位)】

- 情報マネジメント論(2)
- 情報システム論(2)
- 現代情報法制論(1)
- 学習科学(2)
- 電子資料開発論(2)
- 情報評価分析論(2)
- 数理統計(2)
- データマイニング(2)
- 情報セキュリティ論(1)
- データベース演習(2)
- 構造化文書運用演習(2)
- 公文書評価選別論(2)

【自由選択科目(4単位以上)】

- ・ PTL・インターンシップ, 専門科目
- ・ 他専攻または他学府の科目

【養成される知識と能力】

- 情報を管理・提供する組織の機能と役割、取り扱う情報の概要に関する知識
- 大量の情報の中から有用な情報を評価・選別する情報システムを開発するための理論と技術に関する知識と能力
- 情報を組織化して高度な検索あるいは情報提供を行う情報システム、各種のサービスをネットワークを介したユーザーの情報端末でも受けることを可能にする情報システムを開発するための理論と技術に関する知識と能力
- ユーザーの行動履歴等からユーザーの潜在的なニーズや新たなニーズを把握し、これに基づいたシステムを開発するための知識と能力
- 上記に挙げたシステムにおける知的財産やプライバシー保護に関する法的知識とその運用能力

情報通信技術の知識を生かして、情報の検索や発信のためのシステム構築に従事したい

理系

情報ユーザーの視点
に立つ情報
通信技術の
専門家

高度情報化社会における
図書や文書に関する問題
解決に情報通信技術を応
用し、理論構築やシステム
開発をする人材

■履修モデル5

【文系・理系の学生⇒ライブラリーサイエンスの研究者】

入学者

ライブラリーサイエンス専攻

修了者

【学府共通科目(1単位)】

- 統合新領域最先端セミナー(1)

【特別研究(6単位)】

- 特別研究Ⅰ(2)
- 特別研究Ⅱ(4)

【基礎科目(1単位)】

- ライブラリーサイエンス概論(1)

【PTL・インターンシップ(4単位)】

- PTLⅠ(2)
ICT化へ対応した情報の新たな提供・利用、
教育学習環境
- PTLⅡ(2)
資料や情報の総合的な管理・利用

【修士論文】

【専門科目(30単位)】

- 情報マネジメント論(2)
- 情報システム論(2)
- 現代情報法制論(1)
- 学習科学(2)
- 電子資料開発論(2)
- 情報サービスと著作権(2)
- ライブラリー資料論(2)
- 文書記録資料論(2)
- 文書記録マネジメント論(2)
- 情報評価分析論(2)
- 数理統計(2)
- データマイニング(2)
- 情報セキュリティ論(1)
- データベース演習(2)
- 公文書評価選別論(2)
- LSS特別講義1(1)
- LSS特別講義2(1)

【養成される知識と能力】

- ユーザーのニーズや知の創造・継承プロセスを把握する能力
- ユーザーの視点に立った情報の管理・提供のあり方や方法を探求する能力
- 「ライブラリー」の新たな機能等について探求する能力

ライブラリーサイエンス
という新領域を開拓し
たい

文系
理系

ライブラ
リーサイエ
ンスの研究
者

図書館情報学・記録管理
学、両学問領域の共通原
理に立って、情報の管理
と提供についての新しい
研究領域を開拓する人材